



# 議会だより



ドローンで集合写真（南部保育園）



2～4P 平成28年度当初予算



6・7P 常任委員会レポート



9P 一般質問



20P 園紹介「南部保育園」

# 一般会計予算

前年度比5.0%増



図書館整備事業 6,007万4千円  
トイレの洋式化と新たな駐車場を取得・整備

平成28年度一般会計当初予算は、106億2500万円で、3年連続の増額予算となった。  
平成25年度より始まった新庁舎建設事業は今年度ホール棟・食堂棟の建設で終わりを迎え、4年度にまたがる大型事業の最終年度となる。



防犯カメラ設置事業 1,150万4千円  
町内22カ所に設置  
※写真はふれあいの森にある防犯カメラ



婚活応援事業 40万円  
結婚を希望する独身者に  
出会いの場を創出する。

- ①議員報酬 23万7,000円（月額）  
※議長・副議長・委員長は別報酬あり。
- ②議員期末手当 89万5,860円（6月期・12月期合計）  
※議長・副議長・委員長は別報酬あり。
- ③政務活動費 1人につき月額5,000円（年額6万円）  
会派ごとに支払う。  
  - 済々会（7人）42万円・新政会（1人）6万円
  - 親和会（1人）6万円・佐和の会（1人）6万円
  - 日本共産党議員団（1人）6万円
  - 堇の会（1人）6万円・公明党（1人）6万円

ちなみに…  
議員に対して支払われる  
主なものは、左のとおり







平成28年度予算

106億2,500万円



4年にわたる  
新庁舎建設事業の最終年！  
ホール棟・食堂棟の建設  
19億7,734万9千円

※解体作業が進む旧庁舎跡地を4階傍聴ロビーより撮影  
(平成28年3月31日撮影)



ほたるサミット開催事業 350万円  
阿久比町での開催は、6年ぶり4回目  
(平成22年6月撮影)



ホタル施設ビオトープ用地購入事業 1,100万円  
新たな拠点づくりのため  
(平成27年6月撮影)



阿久比町には、5つの特別会計と1つの企業会計があります。  
特別会計は、一般会計と経理を切り離して特定の事業を行う場合に、条例を制定して設置できます。  
阿久比町の特別会計は、国民健康保険、土地取得、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の5つです。  
また、企業会計は、独立採算制を原則とし、企業的色彩の強い事業を行う場合に、法令や条例に基づいて設置するもので、阿久比町では水道事業が該当します。  
平成28年度当初予算額とともに、各会計を解説します。



## 国民健康保険特別会計 30億458万5千円

国民健康保険（国保）制度の運営に関する費用。

主 な 財 源：国保税、国からの負担金  
主な使い道：国保加入者の医療費や後期高齢者支援金

## 下水道事業特別会計 6億8,850万円

公共下水道及び流域下水道の整備や維持管理に関する費用。

主 な 財 源：下水道使用料、一般会計繰入金  
主な使い道：下水道施設の維持管理費や、借金返済

## 後期高齢者医療特別会計 3億2,346万5千円

後期高齢者医療制度の運営に関する費用。

主 な 財 源：後期高齢者医療保険料  
主な使い道：愛知県後期高齢者医療広域連合への納付金  
※後期高齢者医療制度の運営は、広域連合と阿久比町で協力して行っている。

## 土地取得特別会計 22万円

公共用地を事前に購入するもの。  
現在は基金の利子積立のみ。  
平成27年度末の基金残高は21万4,984円

主 な 財 源：基金利子  
主な使い道：基金利子の積立

## 介護保険特別会計 20億1,386万3千円

介護保険制度の運営に関する費用。

主 な 財 源：介護保険料、国などからの交付金  
主な使い道：介護保険サービスの費用

## 水道事業会計（企業会計） 7億846万3千円 （支出ベース）

水道事業に関する費用。

主 な 財 源：水道料金  
主な使い道：愛知県から水を購入する費用や、水道施設の新設・維持管理費用

# 平成28年 第1回定例会

定例会のあらまし

討  
論

この議案に  
賛成または反対

**可決**  
阿久比町  
道路線の認定

反対討論

澤田 道孝 議員

平成28年第1回定例会を、3月2日から17日までの16日間開催した。今定例会で審議した議案は、当初予算7件を始め、条例20件、補正予算4件、その他3件の合計34件であった。

事業者は、都市計画法に基づき築造し、本町が寄附採納を受けた道路に對して一定期間を経て、施工上の問題点が発生した場合、事業者が責任をもつてその道路の修繕に当たる旨の確約書を交わし道路認定をするべき。完成間もないこの道路の町道認定に反対する。

今後の道路認定においては一定期間を据え置いた後、道路認定すべきであると考えている。

**可決**  
平成28年度  
阿久比町  
一般会計予算

反対討論

澤田 道孝 議員

「元氣な家族農園事業」は1区画約6坪の家庭菜園を年6千円で一般町民に貸借する事業で、町民同士のふれあいを目的としている。

しかしながら現在80区画中、申込者54区画（約68%）と募集予定数を大幅に下回っており、今までに投入した税金は昨年度219万円、本年度予算においては約260万円となっている。賃借料が継続的に発生することを考えると、費用対効果の薄いこの事業に反対する。

賛成討論

山本 恭久 議員

新庁舎建設事業の最終年度として、予算総額は過去最大規模である。

依然として厳しい財政状況のもと、災害に強い元氣なまちづくりを念頭に、阿久比町の発展と住民福祉の向上に努め、「みどり共生する快適生活空間・あぐい」を目指すため数多くの事業を効率的に盛り込んでいる。今後も健全な財政運営に期待する。

反対討論

竹内 強 議員

陽なたの丘をはじめ、阿久比町へ転入してきた住民の中には、共働き世帯が多く、子育てや教育にもっと力を注ぐ必要がある。以前住んでいた自治体よりも手厚いものにし、阿久比町に来てよかったと言えるような施策を望む。

また、町長の言う名古屋・三河・阿久比のトライアングルは、幹線道路によるスピード化であるが、今町民にとって必要なのは安全な生活道路の整備ではないか。

賛成討論

都築 重信 議員

ホール棟・食堂棟の建設により、町民の皆さまに親しまれる阿久比町のランドマークが無事完成することを望む。

将来必ず到来する少子高齢化や人口減少に対処するため、子育て支援策や高齢者支援策を拡充・継続し、人にやさしい健康・福祉のまちづくりを目指したものとなっている。

学校施設や図書館・公民館など公共施設の整備にも力を入れている。「安全・安心・安定」、「阿久比らしさ」、「参画と協働」を基本とした「自然と調和した快適なまちづくり」を感じられる予算編成である。

**可決**  
平成28年度  
阿久比町国民健康  
保険特別会計予算

反対討論

竹内 強 議員

国保加入者の多くは、60歳～75歳の年金生活者とその家族、また、中小零細の自営業者及び農業従事者である。

消費税の値上げや医療制度の改悪により生活費に對する医療費の負担が大きくなっている。

国からの低所得者財政安定支援金は、直接保険加入者の保険料値下げに充てることができない。国保税値上げを抑えるためであれば、一般会計からの繰り入れを減らすのではなく、国保会計に積み立てておくべき。



# 常任委員会レポート

## 総務建設

3月11日に文教厚生委員会を、14日に総務建設委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

### 阿久比町職員の降給に関する条例の制定

**阿久比町職員の退職管理に関する条例の制定**

**Q** 心身に故障がある場合、医師の診察を受けて降給するが、どのタイミングで判断するのか。

**A** 配属を変えたり、研修や指導等を受けても改善されないとき。

**Q** どこまでが該当職なのか。  
**A** 課長、主幹、指導保育士。

**Q** 罰則規定はあるのか。  
**A** 地方公務員法で罰則規定はあるが、届出規定に罰則はない。

**Q** 条文中「職務上の行為をするように」とあるが、具体的にどういうことなのか。  
**A** 元部下に、契約に

対する便宜を図るようなことをすること。

### 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

**Q** 不服審査請求を出して、判定が認められた時は、審査に基づいて改善されるのか。

**A** 処分庁が直接決裁せず、審理員を置き、さらに審査会を開くことによって、公平性を保ち、最終決定される。

### 阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正

**Q** 等級別基準職務表に「困難な業務を行う課長の職務」とあるが、具体的にどのポジションの課長職のことか。

**A** 区別するものは無いが、課長職において、一定期間の年数を経過した者について、級を上げる措置をとっている。

### 阿久比町公共用物の管理に関する条例の一部改正

**Q** 減額の理由とその基準は。

**A** 地価に対する賃料水準の変動を反映。国が定め、県が占有料を決める。5区分となったため、本町は3級に該当し、下がった。

### 阿久比町道路占用料条例の一部改正

**Q** 徴収された占用料は町に全額入るのか。

**A** 町の管理するものに関しては、全部入る。一時的な看板等は適用外。

### 阿久比町道路路線の認定

**Q** 調査点検項目表はあるのか。

**A** 都市計画法に基づいた宅地開発なので、その資料をチェックしている。

**Q** 開発基準に基づいたものは町道として認定しなければならぬのか。

**A** 特別な場合以外は帰属を受けるが、認定の有無はこちらの判断。

**Q** 町道認定後、道路に重要な瑕疵があった場合は、業者が責任をもって補修する取り決

**A** めはあるか。  
**A** 特に決めていない。

### 平成28年度一般会計予算

**Q** 新庁舎総合管理委託料の費用対効果は。

**A** 新庁舎はビル管理法に該当する。面積も旧庁舎の2・5倍となり、色々な業務が増えたが、一括して総合管理することで、全体的には経費節減となる。

**Q** 東側の県道から庁舎への歩行者通行帯は。

**A** 今後、南東方向にメイン出入口ができ、歩行者通路ができる。

**Q** 情報管理費の庁用備品の内容は。

**A** 調査研究用にタブレット端末を4台購入する。

(山本 恭久議員)



# 教 生 文 厚

## 阿久比町子ども・子育て審議会条例の制定

**Q** 保育所運営審議会がなくなることに支障はないか。

**A** それに代わるものとしてこの組織を作るので、支障はない。

**Q** 対象児童の範囲が広がるのか。

**A** 基本的には保育園・幼稚園の児童であるが、学童保育の審議まで含めるので、小学校の児童まで入る。

## 阿久比町立区民館の管理に係る指定管理者の指定

**Q** 区民館と公民館の大きな違いは。

**A** 区民館は体育施設があり、公民館は生涯学習を行う場所。

## 平成27年度阿久比町一般会計補正予算

**Q** 個人番号カードの未執行分を繰り越すが、思ったほど進んでいないのか。

**A** カードの発行・発送が予定よりも全国的に遅れたが、基本的には事業は進んでいる。

**Q** 小学校の設備改修を行う際、国の補助は22%・23%しか出ないのか。

**A** 国の基準額の3分の1が補助となる。基準額が、こちらの積算・設計より低い。

**Q** 空調・トイレの改修は、目標に対してどれくらい進んでいて、全て完了するにはどれくらいかかるのか。

**A** エアコン設置は、平成24年度阿久比中学校、平成25年度南部小学校、平成27年度草木小と東部小新校舎、平成27年度国の補正予算で英比小を行い、一応完了する。



委員会室

**Q** 今回減額する臨時福祉給付金と、増額する臨時福祉給付金の対象者は。

**A** 減額する臨時福祉給付金は1人6千円で、増額する年金生活者等支援は、低所得の年金対象者で、平成28年度中に65歳以上になられる人に対して1人3万円給付する。

## 平成28年度阿久比町一般会計予算

**Q** 老人ホーム入所判定委員会は、医師の診断を受け、町の審査会後に行うものなのか。

**A** 養護老人ホームへの入所措置が適当であるかを、措置対象者の家庭環境や財政状況等を総合的に判定するために開催する委員会

あり、医師の診断等というものではない。

**Q** 一期一会荘の待機者は80名でいいのか。

**A** 一期一会荘への申込者が80名。

**Q** 補装具の給付事業は、現在いったん自分で全額払い、申請後自己負担分以外戻ってくる流れでいいか。

**A** コルセットや松葉づえなどの現物支給のものは、いったん全額払い、国保であれば町の窓口へ領収書をお持ちいただき、国保から返還する。

**Q** 保育園の修理、また設備は足りているか。

**A** 年数が経過し、老朽化している。修理すべきところはたくさん



ひなた保育園を視察  
(3月11日)

あるが、予算に限りがある。優先的にみてどうしても必要なものから行っているが、すべてがかなうわけではない。少しずつでも対応していきたい。

## 平成28年度阿久比町介護保険特別会計予算

**Q** 宅老所の利用者が増えず、地区ではサロンを行う動きが活発化している。今後の展望は。

**A** 総合計画では、宅老所の数を増やしていく方向で計画されている。地区の現状からすると、学区に1カ所では、歩いて通える方が少ない。サロンの方向へ切り替えていきたい。

**Q** 国保加入者の生活が厳しくなってきたいて、国保税の負担が大きくなってきたいて、負担を軽減するため、国からの財政支援金のうち一定額を国保加入者へ還元できないか。

**A** 国保特別会計は、昨年度、単年度赤字である。阿久比町は、国の財政支援金を国保税

(田中 千代子議員)

# 議案等

◎ 全員賛成可決  
○ 賛成多数可決  
× 否 決

## 議案

- ◎ 阿久比町職員の退職管理に関する条例の制定
- ◎ 阿久比町職員の降給に関する条例の制定
- ◎ 阿久比町行政不服審査会条例の制定
- ◎ 阿久比町子ども・子育て審議会条例の制定
- ◎ 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ◎ 阿久比町一般職の職員定数条例の一部改正
- ◎ 阿久比町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部改正
- ◎ 阿久比町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町教育委員会教育長の給与並びに勤務時間等に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町公共用物の管理に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町立幼稚園保育料徴収条例の一部改正
- ◎ 阿久比町遺児手当支給条例の一部改正
- ◎ 阿久比町母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正
- ◎ 阿久比町道路占用料条例の一部改正
- ◎ 阿久比町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ◎ 阿久比町立地区公民館の管理に係る指定管理者の指定
- ◎ 阿久比町立区民館の管理に係る指定管理者の指定
- ◎ 阿久比町道路路線の認定（賛成8名 反対2名）
- ◎ 平成27年度阿久比町一般会計補正予算
- ◎ 平成27年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算
- ◎ 平成27年度阿久比町介護保険特別会計補正予算
- ◎ 平成27年度阿久比町水道事業特別会計補正予算
- ◎ 平成28年度阿久比町国民健康保険特別会計予算（賛成8名 反対2名）
- ◎ 平成28年度阿久比町土地取得特別会計予算
- ◎ 平成28年度阿久比町下水道事業特別会計予算
- ◎ 平成28年度阿久比町介護保険特別会計予算
- ◎ 平成28年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算
- ◎ 平成28年度阿久比町水道事業会計予算

## 陳情

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情書

## 承認

◎ 専決処分承認を求めること（阿久比町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）

## 議案

◎ 平成27年度阿久比町一般会計補正予算

## 議案

平成28年第1回臨時会  
平成28年1月20日開催

平成28年第2回臨時会  
平成28年1月29日開催

## 議案

◎ 備品購入契約の変更（新庁舎備品等購入その1）  
◎ 備品購入契約の変更（新庁舎備品等購入その2）

## お知らせ

かねてから病氣療養中でありました新美敏式氏は、平成28年1月26日をもって辞職されました。それにより、現在の議員数は定数14人に対し13人となりました。なお、今定例会の最終日は、体調不良による欠席者が2人いたため、採決は議長を除く10人の議員で行いました。



ここが  
聞きたい

# 一般質問 町政を問う

今議会では、3月3日(木)・7日(月)に、9名の議員が一般質問を行いました。  
一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずねるものです。  
事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。持ち時間は1人1時間です。  
次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1頁で、掲載しています。

発言残時間 60分

頁	議員名	質問項目
10	渡辺 功	1. 町職員の人材育成 2. 役場組織の見直し 3. プレミアム商品券の総括と今後
11	竹内 強	1. 歴史民俗資料館の建設 2. 町道3196号線の安全対策 3. 町長の政治姿勢
12	澤田 道孝	1. 本町の人口増に伴う社会インフラの充実・整備計画 2. 本町老人クラブ活動の将来性
13	山本 恭久	1. 高齢者の運転免許証自主返納支援制度の確立に向けて
14	田中千代子	1. 虐待防止のための子育て支援 2. 特別支援教育の充実

頁	議員名	質問項目
15	都築 清子	1. 消防団の現状と今後 2. 「女性消防団」設立 3. 「災害時協力井戸」の現状
16	都築 重信	1. 新しいパーキングエリア 2. ふるさと納税
17	三留 享	1. 高齢者介護施設の運営管理と今後の介護施策 2. 観光立国への対応 3. 就学支援施策の現状と町奨学金制度の創設
18	勝山 制	1. 地方法人課税の見直し 2. 敬老会事業

# 職員の人材育成

## 町の育成方針に基づき進める



渡辺 功 議員  
(新政会)

**問** 組織の長が期待を明確に示すことは、そこで働く者にとって大変重要。また職員は、町民（お客様）が何を望んでいるのかを常に考えながら仕事をすることで組織が活性化される。

**問** 町長の職員に対する期待や思いは。

**答** 職員には、「自分たちの頑張りが阿久比町を支えている」という誇りを持ち仕事に臨んでほしい。すべての町民が幸せになれるよう、いろいろなことに、果敢にチャレンジし、いつも町民と心を共にして職務に励んでほしい。

**問** 職員の人材育成への取り組みは。

**答** 阿久比町人材育成基本方針に基づき、①人事管理、②職員研修、③職場環境整備の3つに分け、人材育成を進めている。

**問** 人事評価のマニユアルと運用状況は。

**答** 人事評価マニユアルに基づき、目標管理による業績評価を年2回実施し、能力に応じた能力評価を年1回実施している。

**問** 議会の内容は、職員に伝わっているか。

**答** コミュニケーションの活性化を強化しつつ、OJTを生かし、各部署間の緊密な連携を取りながら、計画的かつ効果的な体制づくりに努める。

OJTとは：  
On the Job  
Training

（オンザジョブ  
トレーニング）

の略で、日常業務を通じて従業員教育のこと。仕事の遂行を通して、職場の先輩が後輩に仕事を教えていくこと。

## 組織の見直し

### 部課長が調整

**問** 役場は、人事や予算等がすべて4月に集中。従来の慣行にとらわれない改革が必要ではないか。

**答** 国も地方も会計年度は4月1日から翌年3月31日までと法で定められている。国、県、近隣市町と歩調を合わせるには4月スタートがベストと考える。人事異動は柔軟に対応する。

**問** 仕事の効率化に向けて、グループ制の導入など組織のフラット化は。

**答** 本町は4部、15課、41係で組織。事務・事業はおのおの細分化され、各係が所管。係間の連絡や仕事のムラ、繁閑の調整などの課題に対し、部課長が調整し、適切に対応している。また、資格と役職の分離による人員配置は、現段階では考えていないが、今後グループ制の効果など調査研究していく。

## プレミアム商品券

### 生活支援に一躍

本町では「阿久比町新庁舎建設記念」と銘打って、1万2千円分の商品券を1万円で計1万セット（総額1億2千万円）販売した。

**問** 並んでも購入できなかった人からの、意見や苦言の内容と対応策は。

**答** 障害のある方等への配慮や、購入限度額、販売方法に関する意見をいただいた。今後は皆さまに納得していただける販売方法としたい。

**問** アンケート調査の集約結果は。

**答** アンケート配布世帯は900世帯、うち241世帯が回答。商品券の額面では2193万6千円。回答世帯のうち、商品券の入手がきっかけとなって購入した商品・サービスがあった世帯は111世帯。商品券での支払いに合わせ追加支出した現金等があった世帯は86世帯。

回答世帯の商品券全体

の金額の28.58%が新たな需要であった。

**問** 町内取扱加盟店への販売状況や効果等の検証実施は。

**答** 2月末での換金率は99.6%である。商品券は額面以上の買い物に利用されることから、地域の活性化や生活支援に効果があつたと考える。

**問** 一括交付金の地方創生策で、町自らが考え行いものではないと意味がないのでは。

**答** 住民生活を緊急に支援するため、短期間で計画を策定する必要があるため、国が推奨する事業内容とした。

**問** 地域経済への効果は薄く、税金の使い方として不公平ではないか。

**答** 本町として今後、プレミアム商品券の販売はやるべきではないか。事業実施の計画はないが、実施する場合には公平、公正な実施としてい。





竹内 強 議員  
(日本共産党)

# 歴史民俗資料館建設

## 今後の調査・検討に期待

阿久比町第5次総合計画で「歴史民俗資料館の建設を検討する」とある。

**問** 町内で発掘・発見された遺物や資料はどのようなものがあり、どこに保管されているか。

**答** 「長脛三筋壺」をはじめ、山茶碗・壺・甕等。中央公民館などで展示・保存している。

**問** 学芸員を町の職員として配置する考えは。

**答** 阿久比町埋蔵文化財研究員の指導の下で、保管しており、現在配置の考えはない。



中央公民館2階の古窯の展示

**問** 知多郡内での資料館の設置状況は。

**答** 知多5市と東浦町は博物館、武豊町は資料館が常設されている。

**問** 資料館の建設についての今後の展望は。

**答** 現在は、建設の検討はされていない。今後、調査検討を進める。

## 町道3196号線の

### 安全対策

#### 当看板設置で対応

平成27年第4回定例会で町道3196号線の質問をしたが、9月に24件の事故が起きている。どのような改善がされたか。

**問** 前回の質問以後、町としての安全対策は。

**答** 町道108号線の交差点付近に、「交差点注意」と「一時停止」の注意看板、3196号線交差点前に「スピード落とせ」の看板を設置。

**問** 平成28年1月から3月の3カ月間で、ここでの事故は。

**答** 5件。そのうち3件は人身事故。

**問** デンソー東口、旧道との交差点に、開通当時信号機がつかなかった理由は。

**答** 県公安委員会と協議を重ねたが、すぐにはできないとの回答であった。信号機設置まで右折帯を無くし、交差点を小さくするよう指示があった。

## 町長の政治姿勢

### 職員や町民と協働で実施

町長は、町道3196号線の質問後、控室において、「あのような質問をするのであれば、もうあなたの地元の事業は、やれない。」と発言された。真意を明確にしてほしい。

**問** 町長が気に入らないという理由で事業が決められるとするならば、これは行政の私物化と言わざるを得ない。

現在の町行政は竹内町長の顔色をうかがってこなわれているのか。

**答** 町の企画立案は、職員から持ち上がり、議論を重ね、最後に町長が町政の舵を取る。職員や町民と協働して仕事を進めているので、全く行政の私物化ではない。

**問** 議員が議会でおこなう一般質問は自由なはずである。町長が気に入らないからと言って、阻止することはできないと思うが、どうか。

**答** 議会会議規則で「議員は、町の一般事務について、議長の許可を得て、質問することができ」とあるので、大いに質問していただきたい。

#### その他の質問項目

・国保への国の財政支援金の使途

# 社会インフラの充実・整備計画

## 各路線の課題解決に鋭意努力



澤田 道孝 議員  
(佐和の会)



渋滞するオアシス大橋

**問** 本町では、人口増加に伴う社会インフラの充実・整備が課題となっている。

**答** 特に、道路網の整備は著しく遅れているため、町民からは、その改善が強く求められている。

**問** 都市計画道路である「矢高・横川線」の進捗状況は。

**答** 土地改良事業の進捗状況に合わせて、道路事業に着手する。

**問** 「板山・宮津線」の計画は。

**答** 起点位置を含め、路線計画を再度地元と調整していく。

**問** 「名古屋・半田線」の進捗状況は。

**答** 東海市より整備を始め、東浦町地内まで進んできた。

町内の早期事業着手を県に要望している。

**問** 「半田環状線」の進捗状況は。

**答** 名鉄河和線および県道阿久比・半田線との交差方法を県にて検討中であり、早期事業着手を県に要望している。

**問** 狭あい道路整備はどのように取り組み、解決していくのか。

**答** 狭い生活道路の拡幅事業であるため、地権者の理解と協力を得て、用地買収を進めたい。

**問** 知多半島道路「阿久比パーキング」にスマート・インターチェンジを設け、オアシス橋西交差点に接続する考えは。

**答** 県で有料道路の民営化を進めている事業。事業者決定後、スマートインターの設置等を提案したい。

## 老人クラブ活動の将来

### 地域クラブの主体性を尊重

人口の高齢化に伴い、いっそう充実した老人クラブ活動の重要性が求められている。

その一方で、老人クラブへの加入率低下や、事業協力の押し付けに対する不満が課題としてある。

長寿命化と、年金支給年齢の引き上げ等による社会的要因がその背景にあると考える。

現状にマッチした活動内容への見直しや条件整備は。

**問** 今後の老人会運営に對する本町の考えは。

**答** 例えば、加入率の解決策として、加入年齢を60歳から65歳に引き上げることもあると思うが。

**答** 『地域とともに生き、支え合う「つながる」まち・あぐい』の基本理念と同様に、自助・共助の精神を基本としている。

「いきいきクラブ」の活動により、地域での連携や、つながりを強くしていただきたい。

町としては、今後も財政的支援として補助金の継続を考えている。

それぞれの地区が、その地区に合った魅力ある活動を検討し、健康で明るい地域づくりに向けて活躍していただきたいと考えている。





山本 恭久 議員  
(済々会)

# 高齢者運転免許証自主返納支援制度

## 自主返納を呼び掛け

75歳以上の運転者を対象に「認知症機能検査の強化」を柱とした道路交通法の改正が、来年6月までに施行される。

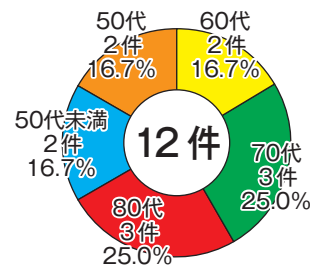
その背景には、高齢者の自動車運転が絡む死亡事故等の発生件数が年々増加傾向にあること。

また、免許保有者に占める高齢者の割合が高くなっていることがある。

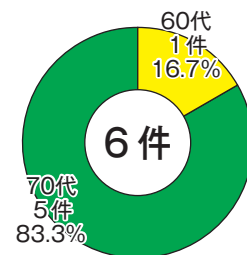
これによって、運転免許証の取り消しとなる対象者が急増する可能性もあることから、高齢者の交通安全対策や、移動手段の確保が懸念される。

ゆえに、高齢運転者に起因する交通事故防止を図るために、高齢者が運転免許証を自主的に返納しやすい環境づくりを推進すべく、同支援制度の確立に向けて。

平成26年1月～12月  
交通死亡事故年代別発生件数：半田署管内



平成27年1月～12月  
交通死亡事故年代別発生件数：半田署管内



**問** 運転免許証自主返納制度について、どのような見解を持っているか。

**答** 本人やご家族の事故防止につながり、抑止効果は十分にあると考える。

**問** 過去の議会答弁内容に基づいた当局側の検討経過と内容は。

**答** 循環バスの本格運行は無料となったので、具体的な検討はしていない。

**問** タクシー券助成のあり方を再検討し、支援制度のひとつとする考えは。

**答** 高齢者タクシー料金助成の交付要件は、70歳以上の方を対象とし、皆さんの有効な交通手段として活用していただいている。

今後、高齢者が急激に増加し続けることから、タクシー料金助成のあり方について、再検討の必要性は感じている。

**問** 自主返納に対する相談窓口は明確になっているか。

また、今回の法改正は、「認知症」がキーワードとなっているが、そういった内容の相談があった場合に、部署間の連携はできているか。

**答** 返納申請の窓口は警察署となる。

役場内の相談窓口は「地域包括支援センター」で、交通係と連携を図る。

**問** 支援制度のサービス内容の一例として、

①運転経歴証明書の交付手数料を負担する考えは。

②個人番号カード申請用証明写真の進呈と、再交付手数料を免除する考えは。

③支援制度の内容として、プレミアム商品券や商品代金の割引等を幅広く提供していく考えは。

このように様々なものが考えられるが、実施に向けた検討機関として、協議会や委員会等を設置していく考えは。

**答** 制度成立のための協議会等の設置については、現在のところ考えていない。

今後、制度導入の取り組みを検討する際には、様々な提案内容を参考にしたい。

**問** 交通安全教室等で、自主返納制度に関するものがあれば、頻度と内容および参加人数。また、その評価は。

**答** 高齢者が、加害者にも被害者にもならないように、交通安全等の様々な場面で、自主返納制度を含めた啓発活動を行い、事故防止に努める。

# 虐待防止のための子育て支援

## 産後うつ支援の必要性



田中千代子 議員  
(蓮の会)

**連日児童虐待事件が報道され、社会問題にもなっている。阿久比町でも虐待相談件数は年々増加している。虐待防止策の一つとしての「産後うつ」支援は。**

**問** 妊娠から出産後の支援は。

**答** 母子手帳の交付時に、保健師が対応し、今の気持ちについてのアンケートを行っている。

**問** 出産後の支援は。

**答** 出産後、電話で健康状態、育児の不安等を聞き、その後、家庭訪問で不安を軽減できるように努めている。

**問** 乳児全戸家庭訪問事業の現状と課題。

**答** 平成21年から全戸訪問し、現在は全員把握している。最初に関った保健師が継続して支援しているが、ケースによって悩むことがあるため、保健師全員で情報を共有している。

**問** 虐待が疑われる時の支援方法と課題。

**答** 虐待が疑われる場合、直ちに子育て支援課と対応し、緊急性があれば、ケース会議を開いている。毎月1回連絡調整会議を開き、情報共有、支援方法を検討。課題は通報時に、家庭訪問をするが、その場で解決できないことが多く、経過観察になりもどかしさを感じる。

**問** 「産後うつ」発見のため、EPDSの実施は。

**答** 乳児訪問時に、母親のメンタル面を観察しているもので、使用する予定はない。

**問** 保育園入所条件に「虐待やDVが疑われる場合」を加える考えは。

**答** 虐待やDVが疑われる場合は、優先的に保育園の入所を行う。あえて記載は考えていない。

**問** 「産後ショートステイ」事業の考えは。

**答** 実施は難しいが、医療機関と照会しながら、調査研究する。

**問** 学校教育で、虐待防止についてどのように教えているか。

**答** 人間の尊厳・学校内での人間関係づくり・親子の好ましい関係など学んでいる。

## 特別支援教育の充実

### 特別支援教育指導員を配置予定

特別支援学級に在籍している児童・生徒が増加している。本町における特別支援教育の現状。

**問** 個別指導計画と個別支援計画の関連は。

**答** 個別支援計画は、乳幼児期から学校卒業までの一貫した長期的な計画。この中で学校生活に焦点を当て作成するものが、個別指導計画。

**答** 児童・生徒42人。支援員4人（阿久比町全体）

**問** 障害の早期発見のため5歳児健診の考えは。

**答** 気になる子どもは、その都度臨床心理士が発達相談に応じているので、予定はない。

**問** 普通学級に在籍し、支援が必要な子どもと支援員の数。

**答** 児童・生徒110人。特別支援学級支援員と生活支援員合わせて9人。

**問** 特別支援計画の今後の取り組みは。

**答** 特別支援教育指導員を配置し、教師の力量と能力の向上を図る。支援員を一本化し、学校の裁量で、必要な支援をする。

**問** 特別支援教育についての研修は。

**答** 今年度は、保育士や幼稚園・小中学校の教員を対象に3回実施。

### EPDS (エジンバラ産後うつ病質問票)

産後うつを早期  
発見するための  
自己評価票



赤ちゃんサロンの様子  
(地元の民生委員さんと面談中)





都築 清子 議員  
(公明党)

# 消防団の現状と今後

## 平成5年から出動報償費変わらず

総務省消防庁では消防団は「地域の防火防災リーダー」として地域に密着し、住民の安心・安全を守る重要な役割を担っている」とある。

**問** 消防団は定員105名と聞いているが、現在の各分団は何人で、団全体の年齢、職業、勤続年数は。

**答** 第1分団21名、第2分団12名、第3分団18名、第4分団18名、第5分団21名、正副団長2名で合計92名。平均年齢は、29.03歳。

職業は、民間企業に勤めている方が9割以上、平均勤続年数は、3.97年。

**問** 消防団の人員確保について本町の取り組みは。

**答** 広報あぐい、町ホームページの活用、行政協力員への協力依頼のほか、団員が地域を回り勧誘活動を行っている。

**問** 出動報償費は1回につき1200円とあるが、いつからか。

**答** 平成5年4月1日から。

**問** 消防団の補助事業は。

**答** 補助事業で防火防災活動に必要な装備品を順次整備している。

**問** 消防団のご家族へも感謝をさせないか。

**答** 町の事業はないが、県事業で配偶者等に対する感謝状の贈呈事業がある。



消防団観閲式（3月13日）  
（はしご車試乗体験）



消防団に配備されている消防車

**問** 子どもたちに消防団の活動を継承していく取り組みは。

**答** 少年消防クラブと消防団が関わる機会を設け、火事の恐ろしさと防火活動の重要性を継承したい。



## 女性消防団設立

### 調査検討

政府が発表した「女性活躍加速のための重点方針」で、社会の安心・安全を確保する女性人材の育成が挙げられている。女性消防団はこの具体的な取り組みの一つと考える。

**問** 隣の半田市では、先進的に女性消防団が活躍している。

阿久比町でも設立は必要ではないか。

**答** 女性消防団の果たす役割、活動内容、消防団組織の位置付けなど、近隣市町を参考に女性団員の加入促進に向け調査検討を進める。

**問** これまで女性消防団の構想はなかったのか。

**答** 検討はしたが女性消防団の必要性が見いだせないまま現在に至っている。

## 災害時協力井戸

### 定期点検未実施



**問** 災害時に飲料水以外の生活用水を提供してくださる「災害時協力井戸」として登録されている家は何件か。

**答** 登録件数は、336件。

**問** 定期的に点検は行っているのか。

**答** 要綱には、水質検査や維持管理費に係る費用は、所有者が負担すると規定があるため点検は行っていない。

# 新しいパーキングエリア

## 本年10月事業開始



都築 重信 議員  
(済々会)



阿久比パーキングエリア  
(知多半島道路下り線)

**問** 阿久比町内の知多半島道路上り線に、新設のパーキングエリアができるかと聞いているが、現状は。

**答** どの機関が主体か。

**問** 県が有料道路事業の民営化として、民間事業者を選定を行っている。

**答** 決定事業者が、パーキングエリアの建設を行う。

**問** この事業の決定時期は。

**答** 平成28年10月頃、事業開始と聞いている以外現在は不明である。

**問** 業者の選定方法は、公募型プロポーザル方式である。

**答** 事業の進め方は。

**問** 現在、不明である。

**答** 建設場所は。

**問** 具体的に示されていない。

**答** 阿久比町内一般道路からの進入路の検討は。

**問** 現在は、不明である。

**答** 阿久比町にメリットはあるのか。

**答** 「県は、地域活性化を含めた提案の内容を重視する」とあるため、メリットはあると考えている。

## ふるさと納税

### 28年度より返礼品を導入

ふるさと納税に返礼品をつける自治体が増えている。またふるさと納税を利用する一般住民も増えていくと聞く。

ふるさと名産品の宣伝と、納税の効果が期待される。阿久比町として進めていく考えはあるか。

**問** ふるさと納税とは。

**答** 自治体に寄附を行った場合に、寄附額のうち2千円を超える部分について、一定の限度額内で、所得税と住民税から全額が控除される制度。

**問** 阿久比町の現状は。

**答** 毎年5件から10件で、70万円～90万円ほどの寄附があるが、返礼品の制度はない。

**問** 近隣市町の現状は。

**答** 平成27年度時点では、半田市、常滑市、東浦町、美浜町、南知多町が返礼品を設けている。

**問** 返礼品を取り入れる考えは。

**答** 平成28年度から返礼品を導入するので、新年度予算に関係経費を計上している。

**問** 返礼品のPR方法は。

**答** 受付専用ホームページ開設のほか、ふるさと納税のプロモーション支援を検討中。

**問** ふるさと納税の控除額は。

**答** 全国の方々に本町の返礼品を紹介していく。下表参照。

**問** 町内の返礼品を選定する場合、検討協議会等を設立する考えは。

**答** 町で組織する「ふるさと納税検討会」の協議を経て、最終的に町で返礼品を決定する。

### ふるさと納税控除額

所得税	(ふるさと納税額－2,000円) × 所得税の税率 ※控除の対象となるふるさと納税額は、総所得金額等の40%が上限です。
住民税(基本分)	(ふるさと納税額－2,000円) × 10% ※控除の対象となるふるさと納税額は、総所得金額等の30%が上限です。
住民税(特例分)	(ふるさと納税額－2,000円) × (100%－10% (基本分)－所得税の税率) ※控除の対象となるふるさと納税額は、住民税所得割額の20%が上限です。





三留 享 議員  
(親和会)

# 高齢者介護施設

## 財政への影響を懸念

平成27年度 介護保険特別会計当初予算  
総額 18億4,620万8,000円  
うち

居宅サービス 計	10億9,211万4,000円
訪問介護（ヘルパー）、通所介護（デイサービス） 短期入所生活介護（ショートステイ）など	
施設サービス 計	5億6,185万8,000円
介護老人福祉施設、介護老人保健施設 介護療養型医療施設	

**問** 昨今高齢者介護施設における介護士による殺人事件が世間を驚かせている。民間介護施設の運営に関し、行政はどのように関与しているか。

**答** 施設サービスには、介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設の3種類がある。

居宅サービスには、デイサービスと呼ばれる「通所介護」、ホームヘルパーが自宅で身体介護や生活支援を行う「訪問介護」、施設に短期入所して介護を受けるショートステイがある。この他に14のサービスがある。予算は左のとおり。

**問** 今後大きな問題として浮上してくる「2025年問題」への対処方針は。

**答** 2025年問題とは、団塊の世代が75歳以上となることにより起こる諸問題のことで、全人口の約5人に1人が後期高齢者となる。

65歳以上の高齢者1人を支える生産年齢人口（15～64歳）は、2015年の23人が2025年には、1.9人となり社会保障財政への影響が懸念される。

本町の要介護認定者は現在の約2倍と予測している。

地域で生活する人が、健康で安らぎを感じられることが重要である。

そのためには家族を含む人とのつながり、地域ぐるみの支えあい、健康な町づくりが大切であると考えている。



案内板の外国語表記

**観光立国への対応 整備に努める**

政府は経済再生策の一環として観光立国を掲げ、県も2017年を観光元年と位置付けて、外国人観光客の積極的な誘致に取り組んでいる。

**問** 本町の取り組みは。

**答** 国は中部9県の「昇龍道プロジェクト」に取り組んでいる。

県はセントレアを核とした知多半島観光圏協議会への参画、大規模展示場の建設計画をしている。

本町の取り組みとしては知多半島観光圏の一員として、酒蔵巡りツアー等への参画、案内板の外国語表記やパンフレットの整備に努める。

**就学支援施策と町奨学金制度 今後調査研究**

明治維新後の急速な近代化や戦後の驚異的復興にもみられるとおり、繁栄や幸福の基礎は優れた人材によることが大である。

一方、近年における家庭の教育費負担は多なものとなっている。

本町100年の計のためにも人材育成に対する投資が重要だと思う。

**問** 本町の就学支援制度並びに町独自の奨学金制度の創設は。

**答** 阿久比町就学援助費事務取扱要綱により、子どもを小中学校へ就学させる場合に経済的理由で困りの保護者に対し、学用品費や学校給食費などの就学援助を行っている。

阿久比町私立高等学校等授業料補助金交付要綱により、生徒の授業料を納入している者に対し、授業料の補助を行っている。

奨学金は、経済的な事情で学業の継続が困難な学生に授業料や生活費などを支援するもの。

町奨学金制度の創設について、検討したことはない。

今後、調査研究を行う。

# 地方法人課税の見直しで影響は

## 本町は減収にならない見込み



勝山 制 議員  
(済々会)

- 問** 従前の法人住民税と、見直しされる税割合は。
- 答** 現行9.7%で、平成29年4月1日から6.0%。
- 問** 法人住民税の課税対象は。
- 答** 町内に、事務所や事業所等を有する法人等。
- 問** 法人住民税の算定基準は。
- 答** 所得に応じた「法人税割」と資本金等の額・従業員数により9段階に区分される「法人均等割」で算定。
- 問** 法人税割合の拡大による、本町の影響額は。
- 答** 平成28年度税制改正により、県内の7市町村に減収の影響があると試算されたが、本町は減収にはならない見込み。



- 問** 敬老会への参加手順は。
- 答** 参加対象は、本町在住の70歳以上としているが、要件などはないので自由に参加できる。
- 問** 平成26年度、27年度の町内参加対象者総数と参加者数は。
- 答** 平成26年度の参加対象者は、4661人で、370人参加。  
平成27年度は一日中悪天候だったにもかかわらず、4815人の対象者のうち350人の参加。2カ年とも立ち見が出るほど盛況だった。

## みんなの敬老会事業 今の形を継続予定

- 問** 町としての自己評価と平成28年度の計画は。
- 答** 会場は満員で、参加者の大きな笑い声と満面の笑みを思い出すと、いきいきクラブの皆さんによる企画・運営は、大成功であると評価している。  
平成28年度の計画は、いきいきクラブ連合会に継続してお願いしていく。  
内容については、実行委員で、決めていくので、現時点では未定である。
- 問** 平成24年度の阿久比町事業仕分け判定後、検証、検討を行ったか。
- 答** 事業仕分けの判定結果、廃止・不要Ⅱ2、改善Ⅱ6を受け、手法などの見直しを検討していたところ、いきいきクラブ連合会が、敬老会を開催していただけることになり、平成25年度に、町制60周年記念事業として、

開催していただいた。  
町制60周年から、町内6店の6種類の和菓子をそろえた記念品とするなど、趣向を凝らし、大変好評だった。  
平成26年度からは委託事業として、現在につながっている。  
元気な高齢者による高齢者のための事業として、うまく行われているため、今の形の継続を考えている。



平成27年度みんなの敬老会的一幕  
～みんなで体操～

- 問** 地域で敬老会を行う考えはあるか。
- 答** 平成22年に地区へアンケートを行い、19地区から「地区の負担が増えるなどの理由から町が勤労福祉センターで行って欲しい」という結果だった。  
大変好評な「いきいきクラブ連合会」による現在の形を変える考えはない。  
地域の皆さんが別の機会を設けて、地域の高齢者の方をお祝いすることは素晴らしいことだと考えている。



# 新しい議場等をご紹介します

## 議 場



(左：議員席)

前列手前から、議席番号順に座ります。  
丸で囲った場所が新たに設けられた「質問席」  
です。



(右：町執行部席)

町長をはじめ、町の3役及び部課長が座ります。

## 委員会室



各常任委員会、議会運営委員会をこの部屋で  
行います。

## 全員協議会室



全員協議会や議員懇談会をこの部屋で行います。



## 園 紹介

### 南部保育園

# ともに生き ともに育ちあう

## 保育理念

- 心身ともに健康な子ども
- 心の明るい素直な子ども
- 創造力のある子ども
- 命の大切さを知る子ども

### ●創立64年目を迎えて

蓮慶寺の境内に保育園を開園し64年、南部保育園の卒園児も2150人を超えました。

自然豊かな南部保育園で、心豊かに育った卒園児たちの大きく成長した姿に出会えることは、長年、保育園運営をしていて何よりの喜びです。



本堂で理事長先生のお話

### ●地域との関わり

保育園内での異年齢交流だけでなく、小・中・高校生との交流も積極的に行っています。

さらに、地域の老人会や高齢者施設の方々から昔ながらの遊びを学んだり、一緒に歌を歌ったり交流を深めています。地域の皆様との関わりによって日々子ども達も成長しています。



田んぼの中には何がいるかな？

### ●「にじっこ保育園」

開園

平成28年4月より新たに分園「にじっこ保育園」の認可を愛知県より受けました。

「にじっこ保育園」は、0歳から2歳までの定員20名の乳児用保育園で、年々増加している乳児保育へのニーズに対応しています。

南部保育園の90名と合わせて110名の子ども達。

子ども達だけでなく、保育士、そして保護者も、ともに生き ともに育ちあっていることを願っています。

## 編集後記

3月議会は新年度予算を審議する重要な議会である。

多くの議案がある中で、特に当初予算は手が抜けず、議員もついつい、熱くなる。

今回は新庁舎での初議会であり、新しい議場と委員会室では、議員と町当局との真剣な議論が交わされた。

新しい議場ということもあり、多くの方に傍聴していただいた。次回もぜひ、傍聴にお越しください。

### 議会だより編集特別委員会

委員長 都築重信  
副委員長 新美正治  
委員 田中千代子  
委員 都築清子  
委員 山本恭久

### 次回定例会

6月1日(木) (開催予定)  
午前10:00～

皆さんの傍聴を  
お待ちしております

問い合わせ先

TEL 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ